

L C A Cの初体験航海に御満悦！



L C A Cの前でポーズをとる参加者



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は1255日（水）、静岡県沼津海岸で実施されたL C A C（Landing Craft・Air Cushionの略で、「おおすみ」型輸送艦に2艇搭載されているエアクッション艇・通称エルキャック）体験航海に引率し、案内した。これは、募集対象者とその家族、進路対象者等学校関係者を対象に行われ、海上自衛隊の支援により実施された体験航海である。

当日は天気にも恵まれたこともあり予定通り実施され、神奈川からは募集対象者6名が参加した。

当初、注意事項の伝達に始まり、いよいよ乗艇となると初体験でもありハイテンションの中、やや緊張した面持ちで学生らはL C A Cに乗り込んだ。

また、乗る前に濡れることを心配していた対象者も、甲板はフロペラが回っており、吸い込まれるため濡れないという説明を受けた後、乗務員室に案内され、まったく濡れる心配なく乗艇出来た。

その後、エンジン起動からビーチングと続き、学生も興奮している状況が見て取れた。乗艇してすぐ参加者からは、「思ったより大きい」「音がすごい」「カッコいい」等と声が飛び出し、とても興奮している様子だった。

約10分のビーチングも無事終了し、エンジン停止、退艇となった。退艇後は、L C A Cの前で自慢げにポーズをとって写真に納まっている学生の姿が印象的だった。

上大岡募集案内所は、「今後もこのような体験航海等、緊密な広報を積極的に案内し、受験・入隊意欲の向上を図ってきたい」としている。

一般曹候補生・自衛官候補生合格者家族懇談会について



所長の説明を聞く参加者達



合格者へアドバイスする稲村1陸士（中央）



自己紹介をする渡部1陸士

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、12月9日（日）小田原市米町公民館において、平成30年度に一般曹候補生、自衛官候補生合格者及びその家族を対象とした懇談会を実施した。この懇談会は、同事務所として初の試みで、合格者の家族との親交を深めるとともに、信頼感の醸成を図ることを目的とした懇談会である。

当日は、合格者6名とその家族9名、自衛官候補生受験予定者1名の計16名の参加と平成30年度3月小田原地区から入隊した細川 裕貴1海士（護衛艦「はたかぜ」所属）、古畝 勇氣1海士（掃海艇「ちぢしま」所属）、平成29年3月に入隊した稲村 航1陸士（第302普通科直接支援中隊所属）、渡部 龍太郎1陸士（中央野外通信群第301指揮所通信中隊）の4名を各部隊から派遣して頂き、小田原地区家族会の石原様、吉田様、長谷川様のご参加並びに小田原地区自衛官募集相談委員会のご支援を頂き充実した懇談会となった。

参加した合格者や家族からは、「息子が自衛隊に合格して、自衛隊の活動等に関して知る機会がなく不安でしたが、懇談会に参加して色々とお話を聞く事ができて良かった」「入隊から職種・勤務地が決定するまでの流れが聞けて良かった」等の今後の募集活動に繋がる意見を聞くことができた。

また、参加隊員の各部隊における活躍と成長した姿に地域事務所一同、募集活動の成果を感じるとともに、今後の勤務の励みとなった。

小田原地域事務所は、「今後も、地域に密着した募集活動を各協力者、各部隊との連携を図りながら防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集に繋げていきたい」としている。

自己紹介をする古畝1海士（左）と細川1海士（右）



自己紹介をする古畝1海士（左）と細川1海士（右）